

more trees が Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2015 に参加！**世界的建築家 隈研吾氏が手がける「つみきのひろば」が芝生広場に登場！**

この度、東京を代表する大型デザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH2015」に more trees が参加することになりました。東京ミッドタウンデザインタッチは毎年東京ミッドタウンで開催され、「デザインを五感で楽しむ」をコンセプトで開催される最注目イベントです。開催9回目を迎える今年は、「つながるデザイン」をメインテーマに、建築家・隈研吾氏がディレクション more trees（モア・トゥリーズ）協力のもと、国産スギを素材にデザインしたつみきを芝生広場に展示します。今回は東京ミッドタウンの芝生広場だけでなく、ギャラリー内での展示・製品化されたつみきの発表など、まさに東京ミッドタウン全体を巻き込んだつながるデザインを披露します。この秋「つみきのひろば」に是非ご注目ください。

会期：2015年10月16日（金）～11月3日（火・祝） 19日間

時間：11:00～18:00 ※雨天一部中止

場所：東京ミッドタウン・ガーデン 芝生広場（入場無料）

住所：東京都港区赤坂 9-7-1

主催：東京ミッドタウン

制作：株式会社 more trees design 協力：一般社団法人 more trees

連絡先：一般社団法人 more trees 電話：03-5770-3969 FAX：03-5770-3896



【プレスお問い合わせ】

MIRU DESIGN PR 担当：菊池 メール：kikuchi@miru-design.com 電話：070-6971-6611 FAX：03-6701-2254

more trees PR 担当：西山 メール：nishiyama@more-trees.org 電話：03-5770-3969 FAX：03-5770-3896

「つみきのひろば」

大小様々なつみきが織りなす大胆なインスタレーション！



メインイベントとなるのは「つみきのひろば」。都会のまん中に広がる芝生広場が、「つながるデザイン」を体感できる広場になります。隈研吾氏がディレクションのもと、more trees とのコラボレーションで国産のスギを使った、大小様々なつみきが登場します。つみきで組み上げた「つみきのやま」やサイズの異なる「つみきのトンネル」の中をくぐりぬけたり、芝生の上で小さなつみきを積み上げて遊んだり、ご家族みんなで楽しめる広場を more trees と共に演出します。広場内に設置される3名のクリエイターによるオリジナルオブジェも必見です！

<ディレクション>

<隈 研吾 (くま けんご)>



建築家・東京大学教授。近作に、サントリー美術館、根津美術館、浅草文化観光センター、長岡市民ホール、歌舞伎座、プザンソン芸術文化センター、マルセイユ現代美術センターがあり現在国内外で多数のプロジェクトが進行中。著書は「小さな建築」(岩波新書)「建築家、走る」(新潮社)他、多数。

<隈 研吾氏からのコメント>

国産材（のスギ）で小さな積木を作りました。
この積木を重ねていくと家具も家も公園も作れます。
小さな粒で世界を作る。そんな不思議な体験を共有しましょう。



いま注目のクリエイターがオリジナルオブジェを制作!



©平野太呂

富士山ガラス
FUJIYAMA GLASS

鈴木啓太／プロダクトデザイナー

1982年 愛知県生まれ。幼少の頃より骨董蒐集家の祖父の影響を受け、ものづくりを始める。2006年多摩美術大学を卒業後、(株)NECデザイン、イワサキデザインスタジオを経て、2012年に、PRODUCT DESIGN CENTER, THEを設立。プロダクトデザインを中心に、プランニングからエンジニアリングまでを統合的に行い、家電製品、モビリティ、家具、日用品、アートに至るまで、国内外で様々なプロジェクトを手掛けている。2015年にはフランスで開催された「第9回サンティエンヌ国際デザインビエンナーレ2015」に参加している。



BIRD HOUSE STAND

「森と都市をつなげたいと思っていました。
この作品が、あたらしい触媒となるよう、設計しました。」

LOG ROAD DAIKANYAMA
©LOG ROAD DAIKANYAMA

齊藤太一／ガーデナー

岩手県生まれ。高校生の頃から植物に関わる仕事を始め、2011年、SOLSO Architectural Plant & Farmを立ち上げる。インドアグリーンやランドスケープデザイン、ガーデンツールやグリーンショップのディレクションなど、グリーンに関することを幅広く手がける。直営店BIOTOP NURSERIES (白金台・大阪)、SOLSO FARM (川崎)、SOLSO HOME (伊勢丹新宿本店・二子玉川蔦屋家電内)



Relax & Joy tsumiki garden

「隈さんのトンネルとつながる体験エリアを
植物を絡めて作りました。」

「もどる場所があるということ」
photo:繁田諭

ミヤケマイ／美術家

日本の伝統的な美術の繊細さや奥深さに独自のエスプリを加え、過去と現在までをシームレスにつなげ物事の本質を問う作品を制作。多様な表現方法を用いて骨董、工芸、アート、デザインなど既存のジャンルを問わずに天衣無縫に活動。大分県立美術館(OPAM)、水戸芸術館、Shanghai Duolun Museum of Modern Art, POLA美術館、森美術館などでの展示及び画廊個展多数。

X



「MIWA」

佐野文彦／建築家・美術家

1981年奈良県生まれ。京都、中村外二工務店にて数奇屋大工として弟子入り。設計事務所などを経て2011年佐野文彦studio PHENOMENONを設立。デザインやインスタレーションなど幅広く活躍中。

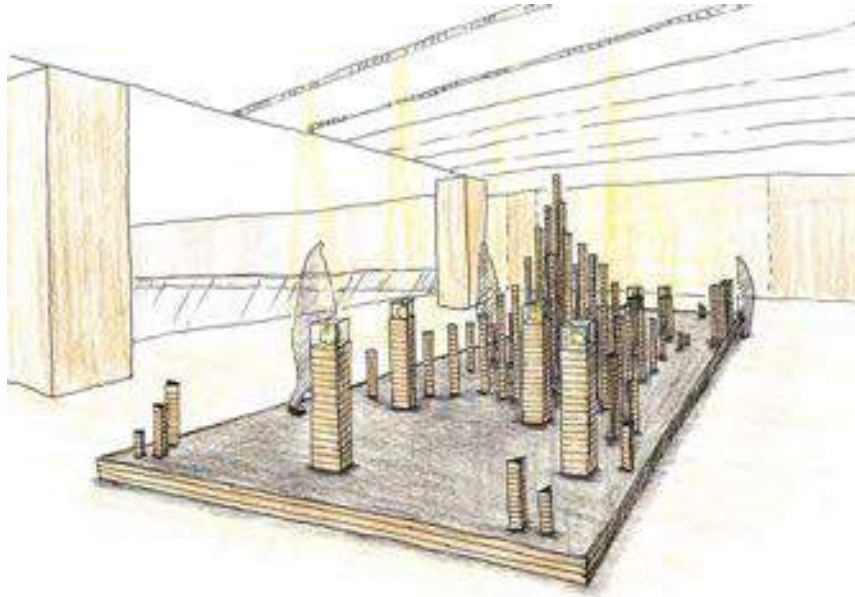


木ヲ見て森ヲ見ズ 森ヲ見て木ヲ見ズ

「つながることで、個を超えて見えてくるものを
テーマにしたインスタレーション。」

つみきは東京ミッドタウンのショッピングエリア「ガレリア」にも、つながります！

ガレリア 3F IDÉE SHOP/IDÉE CAFÉ PARC 前 渡り廊下ディスプレイ イメージ



メインディスプレイとなる「つみきのまち」

様々な人々が行き交い、出会い、つながることで徐々に広がりが大きくなる「まち」。そんな「まち」ができていく様子、つみきが積まれていく様子とリンクさせながらビジュアル化することで、人々がつながり、大きなまちになっていくというイメージを演出します。「つみきのまち」を「まち」と見立てて、中央のタワーはミッドタウンタワーの高さ248mの100分の1(2480mm)にしております。

<ディスプレイ> 松村和典氏



空間デザインを軸に家具デザイン、展覧会やミュージシャンのライブスペースのデザイン・ディレクションを行う。2012年1月にミラノのPost Design Galleryで行われたIMAGINATURE展でのインスタレーション作品の発表を期にアーティストとしての活動も開始。様々な分野の作家と共同しながら商業施設のアートワークのデザイン・ディレクションも手がける。

<これまでに手がけた作品>



Komorebi



Nen-Rin



ANNIVERSARY-Milk

サイン計画は「HOO」による演出！

<HOO>



森の恵みのレシピ



永森志希乃、高岡友美の2人で「風景と食設計室 HOO」を立ち上げる。LOUISVUITTON x YAYOI KUSAMA COLLECTIONのレセプションパーティーのフードプレゼンテーションをはじめ、ケータリングや食のインスタレーション、木をまるごと一本頂くイベント「森のお祭り」を開催したり、オリジナルギフトパッケージをデザインしたり多岐にわたる活動をしている。「レイ・ヴィトンの森」森の恵みのレシピのプロジェクトにて、試食会のメニュー、小諸の旅ノートを作成。

デザインタッチのメインイベント「つみきのひろば」で展示されるつみきを
東京ミッドタウンで期間限定先行販売します！



Photo_Ikunori Yamamoto

隈研吾氏と more trees のコラボレーションによって生まれたシンプルな三角形の「つみき」。建築的な要素を取り入れたつみきは、積み方次第で様々なインテリアオブジェをつくり出すことができます。宮崎県諸塚村のスギの無垢材を使用しており、無塗装なので小さなお子様のおもちゃとしても安心してご利用いただけます。ご自宅でインテリアのアクセントにしたり、ご出産祝いのギフトとしてなど、幅広い用途でお楽しみいただける「つみき」です。

パッケージイメージ



オブジェイメージ



価格（予定）：7ピース 4,500円（税別） 13ピース 7,800円（税別） 22ピース 12,900円（税別）

つみき 1ピースのサイズ：縦 11cm 横 12cm 奥行 4cm

POPUP 開催店舗：東京ミッドタウンギャラリー 3F 【TIMES & STYLE MIDTOWN】

日本人特有の美意識をコンセプトに、新しいインテリアスタイル・オリジナルデザイン家具を世界に向けて発信している TIME & STYLE にて 10月16日より先行発売が決定。

TIME & STYLE

more trees 団体紹介

more trees (モア・トゥリーズ) とは、その名のとおり「もっと木を」というコンセプトのもと、音楽家 坂本龍一の呼びかけによって設立された森林保全団体です。

私たちは、国内では主に人工林の間伐を推進し、木材をはじめとする様々な“森のめぐみ”を活用するための仕組みづくりに注力しています。

また、海外では主に植林を実施し、森林の回復に努めています。

どちらも、ただ緑を増やすことだけでなく、森林の持つ保水力やCO₂ (二酸化炭素) を吸収する力、生物多様性を育む力などの多面的な機能を回復させること、そして、森林を中心とした持続可能な地域社会の再生に貢献することを目的としています。

森林は人類にとって恩恵であり財産です。私たちは、その力を高め、未来に活かすために活動し続けていきます。



都市と森をつなぐ
キーワード

more trees の活動

ヒトのつながり

究極の森とのつながりは、森を訪れること

モノのつながり

国産材をはじめとする様々な森の恵みの活用

空気をつながり

森が吸収するCO₂で排出されたCO₂を相殺



2011年11月に高知県梛原町で第一号の森がスタートしました。以後、森づくりは国内に11か所、海外1か所に広がっています。

